

## 製菓業界

# クオリティの高いパッケージに ふさわしい印字品質の実現

## 技術的課題

パッケージのデザインは、市場でブランドを特徴づける要因の1つです。パッケージ上の印字の位置ずれやゆがみ、見た目の悪さは、お客様にとって読みにくいだけでなく、洗練されたパッケージデザインの条件である「汚れない外観」を損ないます。パッケージデザインの段階で印字技術を検討することで、見栄えの悪い印字が生じるリスクが低減し、パッケージをさらにいいものにすることができます。

## ビデオジェットの長所

ビデオジェットは、パッケージに最適な印字を実現する幅広い種類の印字技術を提供しています。お客様のパッケージとブランドにふさわしい印字ソリューションを提案させていただく際には、お客様にご協力いただき、試作品のパッケージでのサンプル印字の実施と評価をさせていただきます。ビデオジェットでは、下記の最先端の印字技術のご用意があります。

**産業用インクジェットプリンタ (小文字用) :** 連続インクジェット方式の非接触印字プリンタで、多くの素材に適した特殊配合のインクがあります。

**サーマルインクジェットプリンタ :** インクベースの非接触印字方式で、熱および表面張力を利用してインクをパッケージ表面に投射します。

**レーザーマーカー :** 様々な種類のパッケージに対し、恒久的なマーキングを形成します。

**産業用サーマルプリンタ :** 熱転写サーマルプリント技術を利用したフレキシブルプラスチックおよびフィルム用のリボンベースのプリンタです。

## 低品質の印字では洗練されたパッケージデザインが台無しです。パッケージデザインに見合った印字品質を実現することが重要です

製菓業界では、パッケージは非常に重要なマーケティングツールです。特徴的で目を引くパッケージデザインによって消費者を惹きつけることが、ブランドイメージを伝える最も重要な手段です。そのため製菓業界の企業の多くは、デザイン性の高いパッケージの作成と実現に多大な時間と費用をかけるのです。

ところが、ロット番号やバッチ番号、消費期限情報の位置ずれ、ゆがみ、見た目の悪さは、消費者を製品から遠ざけ、最高のパッケージデザインを台無しにしてしまいかねません。パッケージへの投資とブランドイメージを守るには、デザインの段階で印字方法を検討することが重要です。利用可能なさまざまな印字技術を理解することで、製造工程のトラブルに悩まされることなく工程能力を引き出すことができます。パッケージデザインのプロセスを開始する際には、以下の点をご検討ください。

## 1. パッケージの材質の種類

パッケージの印字面の特徴は、製品の形状、機能、用途によってほぼ決まります。パッケージに用いられている材質の種類は、印字品質と耐久性に直接的に影響します。印字結果の外観と耐久性は、適用された印字技術で決まるわけですが、対象面に最適な印字技術を決定する際の最も重要な要素はパッケージの材質です。たとえば、ある種のプラスチックでは、インクやワックスの固着性の悪さにより、印字品質のトラブルが生じる可能性があります。

最良の印字を得るために、使いたい印字面上でさまざまな印字技術の性能を試してみてください。特殊なパッケージ素材を製品に使用しなければならない場合は、特定の印字技術が性能を発揮できる特殊加工の印字領域の作成をご検討ください。例えば厚紙製の箱の場合、印字領域に限定して印字困難なコーティングやニス小さく一部除去して、インク印字の固着性を向上させる方法があります。通常、この印字領域は「ノックアウト」ボックスと呼ばれ、ラベルや凹凸の多い包装上などにも作成されます。類似の方法ですが、印字ウィンドウとしてパッケージやラベルの一部の色を変えることで、多くのパッケージで印字品質を向上させることができます。

包装素材の性質が最終的な印字品質に影響を与えることがあります。例えばグミを包装する場合には、グミの含有物がフィルムから染み出してマーキング済みの画像にダメージを与えないように高品質フィルムを使用する方法を検討する必要があります。消費者の元に届いてから数週間後にパッケージの印字の固着性が弱まることがあるからです。印字する予定の位置に、プレプリントされたフィルムを適用することで、原料がフィルムに染み出すのを防止する効果が期待できます。

## 2. 製品パッケージに表示する必要のある情報の内容

パッケージの外側に印字する内容は、消費者に情報を伝え、規制に準拠していることを示すために重要です。しかし、包装上への印字を常にアップデートしながら正確性を保つことは容易ではありません。通常パッケージに記載される情報は、製品の製造現場ではなく、パッケージの製造業者で全て印字されます。その結果、生産体制の柔軟性の低下、余分な在庫管理コストの発生、そしてラベル貼付ミスなど包装上のエラーが生じるリスクがあります。

たとえば、多数のフレーバーや形状の異なる製品があるお客様やさまざまな顧客に合わせて包装するための製品切り替えの多いお客様には、パッケージ上のプレプリント情報を減らして、製造工程で使えてカスタマイズ可能な可変データ印字が可能なソリューションをご提案しています。

最先端の印字技術をご利用いただければ、多くのケースでプレプリントと同等の情報が製造ラインで印字できます。可変印字技術を活用いただくことで、単色の製品ロゴ、バーコード、テキスト情報などを生産工程で直接包装上に印字できるようになります。このような変更を実施した場合、プレプリントされたパッケージの在庫数を減らして、さまざまなパッケージを数多く用意する煩雑さが軽減できます。また、ボタン1つで製品を簡単にカスタマイズできるため、季節、販促、地域特有の情報に柔軟に対応することが可能です。

## 3. 製品パッケージに印字する必要のある情報の内容

製品購入後に消費者と交流できる場を設けることで、ブランドに対するロイヤリティを高め、有益なマーケティングデータが取得できます。可変印字システムでは、パッケージごとに異なる印字ができます。この製品毎の識別情報を、携帯、オンラインまたはWEBサイトのアプリケーションソフトと組み合わせる工夫を行うことで、消費者との情報のやり取りが可能になり、ブランドに関する情報のやり取りが可能になります。たとえば、オンラインで入力すると抽選やオンラインゲームのポイント付与のページにアクセスできる一意の番号を、チョコレートの箱の中に入れることもできます。この種のプログラムは消費者の注意をひき、購買増加が見込めるだけでなく、消費者データも入手できます。



waxjet による読みにくい印字



産業用サーマルプリンタによるきれいな印字



読みにくい位置のずれている印字



産業用インクジェットプリンタ(小文字用)による明瞭な2次元コード

## 最終収益

パッケージは、ブランドイメージや消費者の購入判断を左右する最も重要な要因です。低品質の印字では洗練されたパッケージデザインが台無しです。

パッケージデザインの段階で、可変データ印字技術の検討を始めることで、製造工程の能力を最大化できます。

豊富な経験を持つビデオジェットの営業スタッフが、さまざまな印字技術のメリットとデメリットをご説明し、お客様が自信を持って印字技術の選択ができるように、使用予定の製品パッケージでのサンプル印字も承ります。ビデオジェットでは、さまざまな種類の印字技術と640種類を超える特殊配合の溶剤や消耗品の用意があり、お客様の新しいパッケージに最適なマーキングソリューションを提供します。

TEL: 0120-984-602

Email: [info@videojet.co.jp](mailto:info@videojet.co.jp)

または当社のホームページ

[www.videojet.co.jp](http://www.videojet.co.jp) をご参照ください

ビデオジェット社

〒135-0064 東京都江東区青海 2-5-10

テレコムセンタービル 西棟 6F

© 2015 ビデオジェット・エクスライト株式会社 — All rights reserved.

なお、ビデオジェット・エクスライト株式会社は常に製品の品質向上をめざしており、お客様への予告なく設計や仕様を変更する場合がありますので、ご使用に際しては最新の情報をご確認ください。20151028

 VIDEOJET®